

貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(16,420)	(負債の部)	(4,017)
流動資産	6,292	流動負債	3,185
売掛金	983	買掛金	775
商品及び製品	1,158	一年以内返済長期借入金	1,128
仕掛品	643	未払金	814
原材料及び貯蔵品	845	その他	467
短期貸付金	2,587		
未収金	70	固定負債	832
その他	2	長期借入金	788
		その他	44
固定資産	10,128		
有形固定資産	9,958	(純資産の部)	(12,402)
建物	4,637	株主資本	12,402
構築物	452	資本金	100
機械及び装置	2,751	資本剰余金	4,855
車両運搬具	15	資本準備金	1,455
工具、器具及び備品	117	その他資本剰余金	3,400
土地	833	利益剰余金	7,446
建設仮勘定	1,150	その他利益剰余金	7,446
無形固定資産	0	繰越利益剰余金	7,446
投資その他の資産	169		
繰延税金資産	169		
その他	-		
合 計	16,420	合 計	16,420

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品	移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
製品、仕掛品	総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
原材料及び貯蔵品	総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

1) 有形固定資産 定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 12年～38年

機械及び装置 4年～8年

2) 無形固定資産 定額法

3. 引当金の計上基準

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込み額に基づき、計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社は、回路基板用途の銅張積層製品の販売を行っております。製品販売については、製品の引渡時点において顧客が当該製品に対する支配を獲得することから、履行義務が充足されると判断しておりますが、当該製品の出荷から引渡までが通常の間内であるため、当該製品の出荷時点で収益を認識しております。また、収益は、顧客との契約において約束された対価から、返品を控除した金額で測定しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

1) 消費税等の処理方法

税抜方式で処理しております。

2) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(当期純損益金額)

当期純利益 1,653百万円